「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰を受賞

菊水ボランティアの会

菊水ボランティアの会のみなさん

この度、菊水ボランティアの会（坂口志げ子代表、会員44人）が、国土交通大臣の表彰する「第21回『みどりの愛護』功労者」に選ばれました。

「菊水ボランティアの会」は、昭和53年から活動を始められ、今年で31年目となります。その緑化活動は、「できることを、できるときに」を合い言葉に、地域にお住まいの人はもちろんのこと、和水町を訪れる観光客にも色とりどりの季節の花で安らぎと喜びを与えることを目指し、会員一丸となって地域の公民館や肥後民家村の花壇の手入れを続けられています。

この大臣表彰は、公園緑地、道路、河川などのみどりの愛護団体、地域の緑化・緑の保全活動団体の中で顕著な功績のあった団体が対象。今回は全国で86団体が受賞され、県内からは、同会のみの受賞となりました。

菊水中職場体験

地域に学び、生き方をみつめる

６月１～２日にかけて、菊水中３年生による職場体験学習がありました。これは、和水町に関心を持ち、事業所での職場体験学習を通して働くことの大変さや、喜びを直に体験することで今後の進路選択に活かしていくことを目的として毎年行われているものです。

役場にも経済課に２人、総務課に１人体験に来てくれました。古墳祭の観光ＰＲをロマン館で行ったり、広報の取材を一緒に手伝ってくれたりと、一生懸命体験する姿が印象的でした。今回の職場体験がそれぞれ生徒たちの将来に役にたつことを期待しています。

野菜をきれいに並べます

観光PRの様子

一緒に取材に行きミニ広報紙を作成してくれました

東京の高校生が 肥後民家村で初体験!

ガラス工芸やそば打ちに挑戦！

そば粉の生地を均等にのばす高校生

6月3日（木）、東京・開成高校の生徒たちが修学旅行で肥後民家村を訪れ、「ガラス工房カリヒロ」でのガラス工芸や「蕎麦屋木阿弥」でのソバ打ちなどを体験しました。

ガラス工房カリヒロでは、黙々とストラップなどの小物作りに励みました。焼き上がりはまた後日ということで、今から完成が待ちきれないようでした。

蕎麦屋木阿弥では、生地を均等に広げる作業にみな四苦八苦。しばらくの後、自分たちで打ったソバがゆで上がると、お店の中はおいしそうな香りが広がり、生徒達はあっという間に平らげてしまいました。

どちらも初めての体験という生徒ばかりで、100点満点の出来とは行かなかったようですが、「東京ではなかなか出来ない良い思い出になりました！」とさわやかに話してくれました。

「苺狩りツアー」で 和水町観光ルートを開発!!

あまくておいしいよ!

平成22年6月6日（日）和水町中十町の苺ハウスで、苺狩りツアーが開催されました。このツアーの企画は、和水町の緊急雇用対策事業の一環として、委託先の西日本新聞社が和水町の観光ルート開発を目的として開催したものです。

このツアーには、福岡市や熊本市などから33人の参加がありました。

真っ赤に実った苺を収穫しながら、大きくておいしそうな苺をペロリ。「おいしい」、「あま～い」など、楽しそうな声が飛び交っていました。

苺狩りが終わると、摘み取った苺を使ってのジャムづくり。そして、苺を煮込む間を利用して、孟宗竹のカッポ飯で昼食を済ませ、午後からはパン焼きを体験しました。

焼きたてのパンと手作りの苺ジャムをほおばりながら、和水町の自然と味覚を満喫してもらいました。

今後も、和水町の観光ルート開発のために、このようなモニターツアーを実施する計画です。

下津原西区「中井川」が県の平成の名水百選に認定

名水百選認定証伝達式

下津原西区にある湧水「中井川」が、熊本県平成の名水百選に認定され、認定証が交付されました。

名水百選は熊本県の豊富な水資源の保全活動の活性化を目的として『水の戦略会議』が設置され、①水質・水量　②保全活動の実態　③地元との関わりなど専門家の厳正なる審査により、４月に正式に認定されました。今回の50箇所は県ホームページに掲載され、名水マップを作成するなどして「名水県・熊本」をＰＲしていきます。

認定を受けた「中井川」は、下津原西区長をはじめ地元住民の人々が中心となって湧水源の清掃や手入れをされており、今でも農作物や農機具の洗い場として多く活用されています。

これからも維持・保全活動にご尽力いただきますようお願い致します。

もっと知って　なごみまち

「町観光PR用ポスター」、「法被」、「のぼり」で観光PR

和水町では、豊な自然や先人たちが残した歴史・文化などの資源を最大限に生かした観光事業をまちづくりの柱とする「和水町観光交流振興計画（計画期間：平成22年度から平成29年度）」を本年３月に策定しました。

この計画中の「知名度の向上（情報発信とファンづくり）」の取り組みのひとつとして、町観光ＰＲ用のポスター、法被及びのぼりを作成し様々なイベントなどで活用していくこととしています。

なお、町民の皆様への貸し出しも行っていますので、地域の様々な取り組みにもご活用ください。

作成した観光PR用ポスター、法被、のぼり（中央は、和水町古墳祭ポスター）

6月4日は虫歯予防デー

食べ物は良く噛み、きちんと歯をみがきましょう！

6月1日（火）子育てひろばで親子を対象にした内場歯科衛生士さんによる歯のおはなしがありました。手作りの歯の模型やポスターを使って分かりやすく説明していただきました。中でも１番大切なことは良く噛む（咀嚼）ということでした。噛むことで唾液が分泌され、唾液の働きにより虫歯菌が活性化しにくくなります。他にも、唾液には消化吸収を助ける成分が含まれており、肥満予防につながることや、しっかり噛むことで顔の近くの頭の血管や神経が刺激されて、脳の働きが活発になるということでした。

その後も歯の磨き方や磨くときの子どもの体勢などを丁寧に教えていただき、保護者は真剣な眼差しで聞いておられました。

歯磨き嫌いなお子さんも多いと思いますが、まずは、保護者が笑顔で楽しく歯磨きする姿を見せたり、また食卓を一緒に囲み、「おいしいね！」と良く噛む姿を見せたりなど、親が子どもたちにきちんとお手本を見せることが大切であると思いました。

内場先生による歯のお話

真剣にお話を聞くお母さんたち

クリーンクリーン作戦2010

ゴミのない町を目指して

毎年6月は「熊本県環境月間」になっており、今年は6月6日（日）を「熊本県民環境美化行動の日」と定め、県下各地で住民総参加の環境美化活動が行われ、和水町でも7日（月）に町民、役場職員、ＪＡ職員、企業、関係団体による清掃作業が実施されました。今回は菊水地区、三加和地区を各班に分かれて空き缶やゴミ拾いを行いました。

いつも自動車に乗っていると気づかないゴミや空き缶がこんなにもたくさんあるのかという驚きと、ポイ捨てが多く見受けられたことにとても残念な気持ちになりました。皆が使用する道路や駐車場です。ゴミや空き缶などをポイ捨てしないよう一人ひとりが心がけ、注意することが必要だと思いました。

たくさんのごみがポイ捨てされていました！

阪和電子職員による清掃の様子

あなたの身近な話題や情報をお待ちしています。ご連絡は役場広報担当（☎86・5721）まで